

東海大学望星技術士会 役員会議事録 (HP 掲載用)

表 題	東海大学望星技術士会 令和6年度 第8回役員会 議事録	
1. 日時	2024年12月21日(土) 16:00~17:40	
2. 場所	Web会議 (Zoom)	議事録作成担当: 吉田倫夫
3. 出席者 (敬称略)	【望星技術士会役員会】 ○役員(会計監事を除く) 参加11名、委任6名、計17名:役員総数23名 役員の出席・委任数が過半数を占めているので本会は成立した。(会則第18条の3) ○会計監事0名、オブザーバー0名	
4. 配布 資料	(1) 令和6年度第8回役員会 討議事項会議次第 (2) 令和6年度第7回役員会(前回) 議事録 (3) 令和6年度委員会報告: ①大学イベント運営委員会(今回なし)、②会員イベント運営委員会(今回なし)、③会報編集委員会(今回なし)、④会計委員会、⑤情報管理委員会(今回なし)、⑥大議連・技術士会連絡委員会、⑦その他	
5. 確認・ 審議・報告 事項・その 他	【確認事項】 (1) 前回議事録内容は原案のまま承認された 【報告事項・審議事項】 (1) 委員会報告(活動内容の報告と懸案事項の紹介)について ① 大学イベント運営委員会 -1 建築都市学部建築学科・出前授業・・・実施報告 ・日時: 12/5(木) 9:00~10:40(1時限目) 対面 ・場所: 東海大学湘南キャンパス19号館311教室 ・担当教員: 渡部先生 ・担当講師: 2名+聴講1名 -2 工学部機械システム工学科・出前授業(今年度より)・・・実施報告 ・日時: 12/5(木) 15:20~17:00(4時限目) 対面 ・場所: 東海大学湘南キャンパス16号館503教室 ・担当教員: 落合先生 ・担当講師: 1名+聴講2名 -3 海洋学部海洋理工学科・出前授業・・・準備状況報告 ・日時: 1/9(木) 13:20~15:00(3時限目) 対面 ・場所: 東海大学静岡キャンパス3号館4階 3419教室 ・担当教員: 仁木先生 ・担当講師: 2名+聴講2名 -4 建築都市学部土木工学科・出前授業・・・準備状況報告 ・日時: 1/14(火) 17:15~18:55(5時限目) 対面 ・場所: 東海大学湘南キャンパス19号館311教室 ・担当教員: 三神先生 ・担当講師: 4名+聴講 ② 会員イベント運営委員会 ・特になし	

③ 会報編集委員会

- ・会報9号(次回)は通常バージョンで発行する。
- ・令和7年度総会を10周年記念イベントとし、10周年関連記事とともに、会報10号に掲載する。

④ 会計委員会

- ・活動協力金：54,000円(6名)・・・前回役員会より変更なし
- ・交通費精算：49,740円
- ・銀行残高：589,051円

⑤ 情報管理委員会

- 1 ホームページの対応について
 - ・HP更新中、現状の作業状況について報告あり
 - ・役員名簿は修正済。
- 2 望星技術士会 Facebook
 - ・湘南キャンパス出前授業など4件を掲載

⑤ 大技連・技術士会連絡委員会

- ・現在、加盟36校、幹事10校、事務局2校の体制。12/26幹事校ミーティングにおいて総会の日程、会場、記念講演講師等について打合せの予定

(2) その他報告・審議事項(途中経過を含む)

12/16に開催した副会長・事務局グループ会議の報告

① 新任常任幹事の役割担当について

- ・現行の委員会を原則とし、次年度編成に向けて案を作成のうえ、本人意向を確認する

② 役員人事選任の考え方整理について

- ・2年の任期にて、新たに全員を新役員として選任する【決定】
- ・円滑に新役員が編成できるよう、総会前にその方策と目的を会員に周知する
- ・変更、退任等の要望がある場合は、早めに申し出ることとする
- ・「役員の補充」に加えて、「増員した際の任期」、「途中退任」について会則に追記する

→副会長と常任幹事は各職位2期4年、最長でも3期6年を限度とするが、幹事・顧問は任期の限度を定めない。

③ 各委員会の管理体制、補強・再編について

- ・各委員会の活動内容とマンパワーについて確認のうえ、補強・再編を検討する
- 活動範囲が広がっている中でマンパワー不足の状態。体制強化のための方策が必要。退任は本人の意向であるが、理由は表明して欲しい。
- 出前授業で講師を引き受けてくれた方には、幹事を打診する。

④ 日本技術士会との相互協定について

- ・メリット・デメリット、必要性等を再確認する
- 交通費をもらうことが目的ではない。活動に関するフリーハンドが前提である。

⑤ 賛助会員の位置づけについて

- ・継続協議とする(時間の制約上、協議に至らず)

⑥ 10周年記念について

- ・10周年のメインイベントとして、2025年度総会を位置付ける
- ・1年間を通して10周年を振り返り、記念誌は2026年度に発行する

⑦ 会員サービスの充実について

- ・参加したくなる総会を企画し、参加者を増やして会員が何を求めているか意見を聞く → アンケートを取る。
- ・型にはまった部分を減らし、フリートーク等双方向のコミュニケーションの時間を確保する → 会員から募集する。会員紹介集を会員から説明してもらう。
- ・参加したくなる講演会については、会員イベント運営委員会にて検討する

(3) 次回役員会開催

- ・開催日時：1月25日（土）16時～

以上